

**avantgarde**  
A C O U S T I C

## UNO XD / DUO XD 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。  
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに  
保証書と一緒に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために.....	2
使用上の注意 .....	4
各部の名称 (正面).....	5
各部の名称 (背面).....	6
設 置 .....	8
接続について .....	10
接続例 1 (シングルワイヤー接続).....	11
接続例 2 (バイワイヤリング接続).....	12
接続 (その他).....	13
お手入れ.....	13
スピーカーの向きの調節.....	14
ゲイン (音量) の調整.....	15
困ったときは .....	16
保証とアフターサービス.....	16
仕 様 .....	17
補足：イコライザーとフィルターの設定.....	18

# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<b>警告</b> 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 禁止	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにならない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して置く すきまをあげないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
 指示	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 禁止	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 分解禁止	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>



## 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 <b>電源プラグをコンセントから抜く</b>	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p>
	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <b>指示</b>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>この機器は大変重いので (UNO XD : 約 73.5kg、DUO XD : 約 88kg)、開梱や持ち運びの際は怪我をしないように注意する。</p> <p>この機器はスパイク脚を備えているので、設置の際は怪我をしないように注意する。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <b>禁止</b>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>



愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。  
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。  
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。  
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。  
費用についてはお問い合わせください。

# 使用上の注意

---

## 使用上の注意

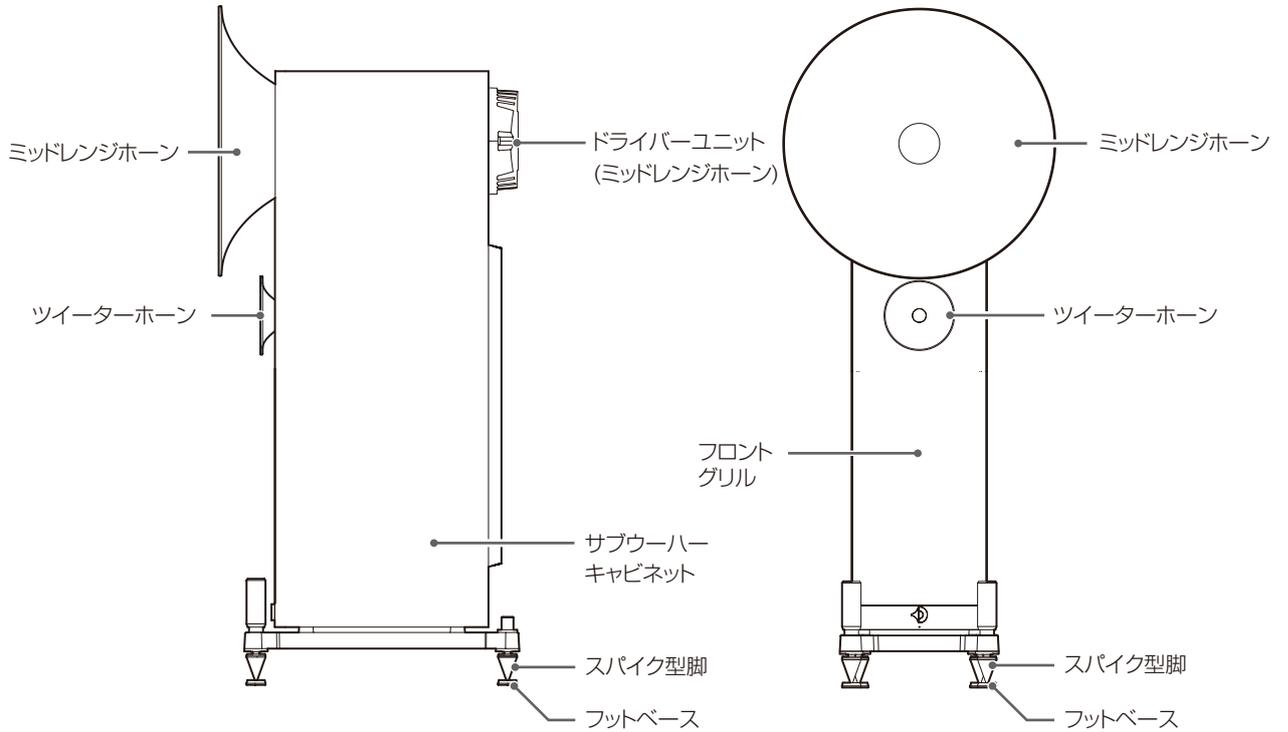
- ホーンの部分に強い力を与えないでください。スピーカーを移動するときは、ホーンには触らずに、金属製のスタンドの部分をつかんでください。
- ホーンとスタンドの留め具がゆるんでいないか、定期的に確認してください。留め具がゆるんでいた場合は、手できつく締め直してください。
- ホーンや前面グリル部に硬いものを当てないでください。傷がついたり、スピーカーユニットが損傷する恐れがあります。
- 本機は防磁型では有りません。  
ブラウン管テレビに近づけて設置した場合、画面に色むらが出る場合があります。スピーカーをテレビから離し、色むらの出ない距離でご使用ください。液晶テレビやプラズマテレビでは磁力の影響は受けません。
- アンプからの入力は適正な範囲でお聴きください。過大な入力は、スピーカーユニットを破損するおそれがあります。また、許容入力以下であっても、クリッピングノイズなどの多い信号はスピーカーユニットに悪影響を与えます。アンプ側でも音が歪まないようにご注意ください。

## 設置についての注意

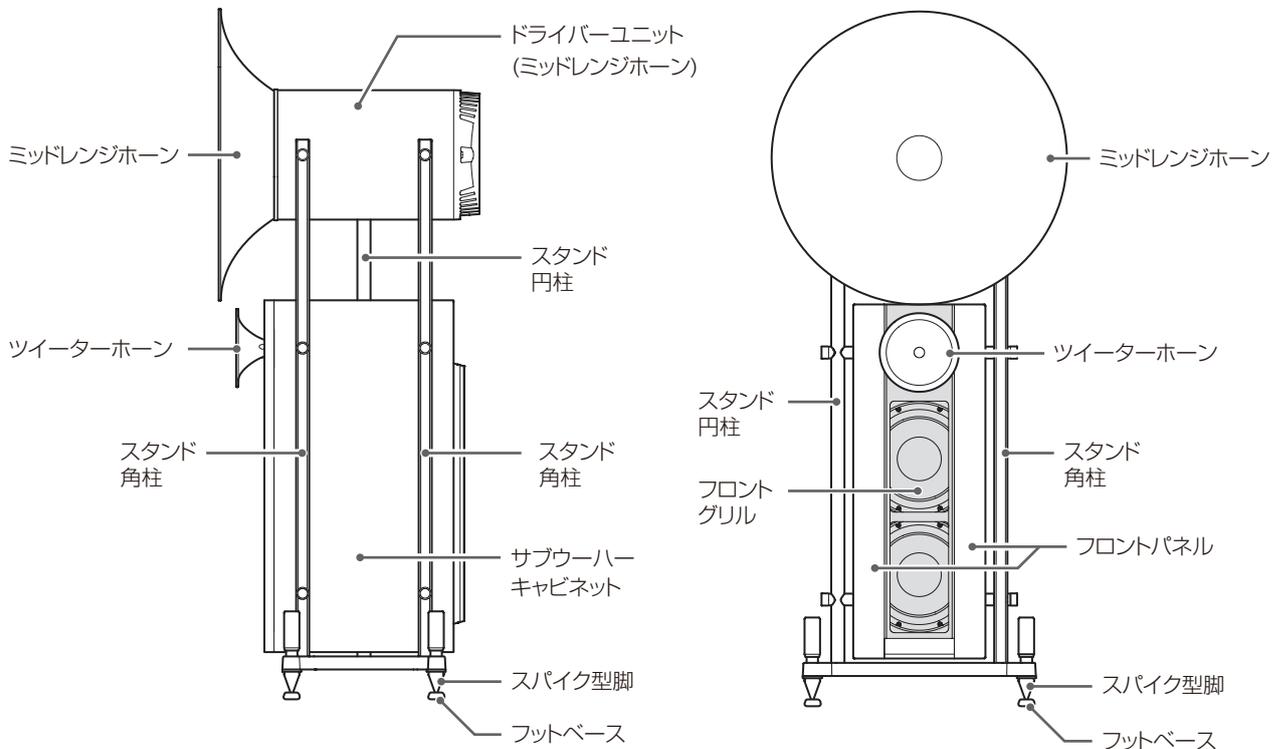
- 直射日光があたる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所に設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- 加湿器のそばなど、湿度が高い場所に設置しないでください。また、油煙があたる場所には設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動する場所などには設置しないでください。落下したり倒れたりして、怪我や損傷の原因になります。
- 前方に反射や共振を起こす物が無いことが理想です。ガラス戸などがある場合、共振を起こすことがあります。共振が起きないようにしっかりと固定するか、厚めのカーテンなどで吸音させてください。
- また、平行した壁面では定在波が起きやすいため、家具を配置して平行を崩したり、厚手のカーテンなどで吸音させてください。
- 設置する床が弱いと、低音域で共振しがちになります。床が弱い場合は、硬い板などを下に敷くのが最も効果的です。
- スピーカーシステムと聴取位置の間には、物を置かないでください。物があると直接音が遮られ、音質が変わる原因となります。
- 放熱をよくするために、風通しのよい場所に設置してください。

# 各部の名称 (正面)

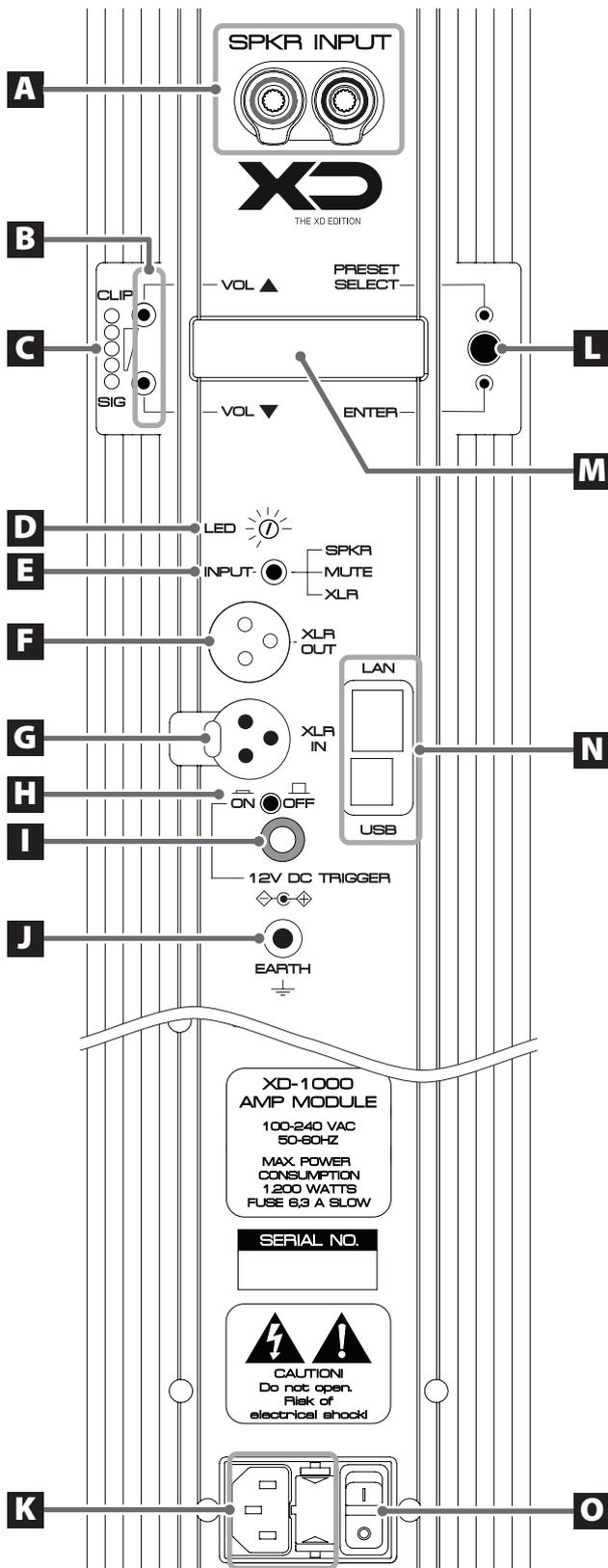
## UNO XD



## DUO XD



# 各部の名称 (背面)



## A スピーカー入力端子 (SPKR INPUT)

アンプのスピーカー端子と接続します。(10～13ページ)

## B サブウーハー音量ボタン (VOL ▲/VOL ▼)

サブウーハー音量調整に使用します。(18ページ)

## C 入力インジケータ

入力信号に合わせてLEDが点灯します。赤いLEDが点灯しないように音量を調整してください。

## D 電源LED輝度調節スイッチ (LED)

スピーカーの正面にある電源LEDの明るさを調節します。

- つまみを右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。

## E 入力切替スイッチ (INPUT)

**SPKR :**

サブウーハーにスピーカー入力端子から信号を入力する場合はこちらを選んでください。

**MUTE :**

サブウーハーの入力をオフにします。ハムノイズなど、トラブルの原因をチェックするときに便利です。

**XLR :**

サブウーハーにXLR端子から信号を入力する場合はこちらを選んでください。

## F XLR出力端子 (XLR OUT)

XLR入力端子のスルー出力です。

サブウーハーを追加するときに使用します。

市販のバランス型XLRケーブルを使って、追加のサブウーハーと接続してください。

RCAケーブルを使う場合は、市販のRCA/XLR変換アダプターをお使いください。

XLRピン番号：1.COMMON、2.HOT(+)、3.COLD(-)

## G XLR入力端子 (XLR IN)

市販のバランス型XLRケーブルを使って、アンプのXLRプリアウト端子と接続することができます。

アンプ側にRCA端子しかない場合は、市販のRCA/XLR変換アダプターをお使いください。

XLRピン番号：1.COMMON、2.HOT(+)、3.COLD(-)

## H リモートスイッチ

リモート端子に接続した機器の電源スイッチで電源をオン/オフするときに選びます。

**ON:** リモートコントロール有効

**OFF:** リモートコントロール無効

## **I** リモート端子 (12V DC TRIGGER)

市販の 3.5mm モノラルミニプラグを接続します。  
アンプなどのリモートアウト端子 (+12V DC) と接続し、電源スイッチを I (オン)、リモートスイッチを ON にしておくと、アンプの電源スイッチでサブウーハーをオン/オフできます。

## **J** アース端子 (EARTH)

付属のグラウンドジャンパーケーブルでアンプのアース端子に接続します。

- 安全アースではありません。

## **K** 電源コード接続ソケットとヒューズ

付属の電源コードを差し込みます。

## **L** プリセットセレクトつまみ

イコライザーとフィルターの設定に使用します。(18 ページ)  
回すと値の変更 (SELECT)、押すと値を確定 (ENTER) します。

## **M** ディスプレー

音量、フィルターとイコライザーの設定を表示します。

## **N** LAN/USB コネクター

XD シリーズコントロールソフト (19 ページ) を使用してイコライザーとフィルターの設定をするときに LAN または USB コネクターとパソコンを接続します。

- LAN でパソコンと接続するときは、市販の LAN ケーブル (CAT5/6/7) をお使いください。
- USB で接続するときは、市販の USB ケーブル (type A/B) をお使いください。
- LAN/USB コネクターは、イコライザーとフィルターの設定をするために使用します。音楽データを送ることはできません。

## **O** 電源スイッチ

**I (オン) :**

リモートコントロール無効の場合、電源が常にオンになります。無信号時の消費電力は約 15W です。

**O (オフ) :**

電源が常にオフになります。長期間使わないときはオフにしてください。

スイッチを切り換えたときにノイズが出るがありますが、故障ではありません。

## ヒューズについて

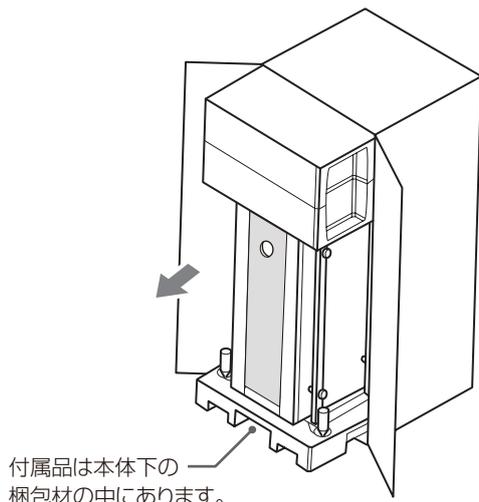
もしもサブウーハーの電源が入らない場合は、電源コードを抜いて、ヒューズが切れていないか確認してください。ヒューズが切れている場合は、新しいヒューズ (6.3A) に交換してください。

- 交換後もすぐにヒューズが切れる場合は、販売店または当社へご連絡ください。

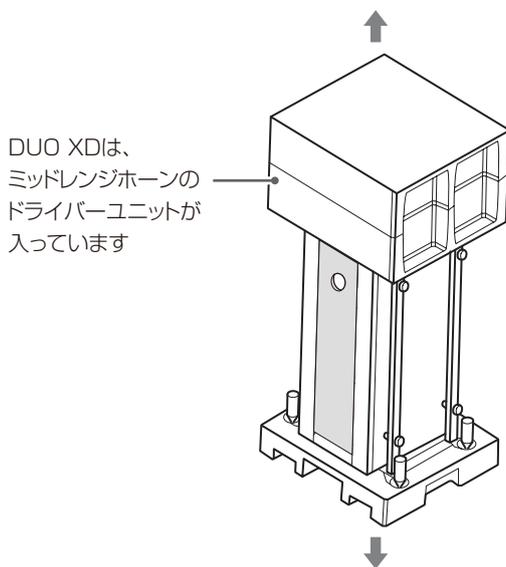
# 設置

**!** 本機は大変重く、スパイク型脚で怪我をする可能性があるため、必ず3人以上で慎重に作業してください。

**1** 箱を立てて、開口部を横に向け、梱包材ごと取り出す。



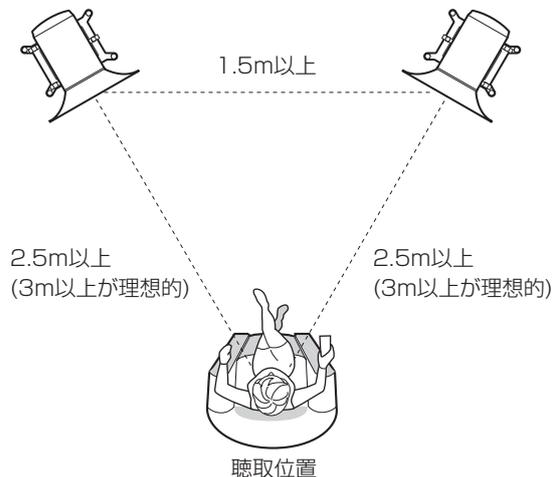
**2** 上下の梱包材を外す。



- 強い力を加えると破損する恐れがあります。スピーカーを動かすときは金属製のスタンドの部分をつかんでください。
- 下側の梱包材は、二人以上で本機を持ち上げて外してください。本機を持ち上げるときは、金属製のスタンドの部分をつかんでください。

**3** 設置場所を決めてスピーカー本体を立てる。

左右のスピーカーは、スタンドが1本しかない面を内側にし、聴取位置に向けて等距離に設置してください。聴取位置までの距離が3メートル程度の二等辺三角形が理想です。左右のスピーカーの間隔は、1.5m以上あけてください。

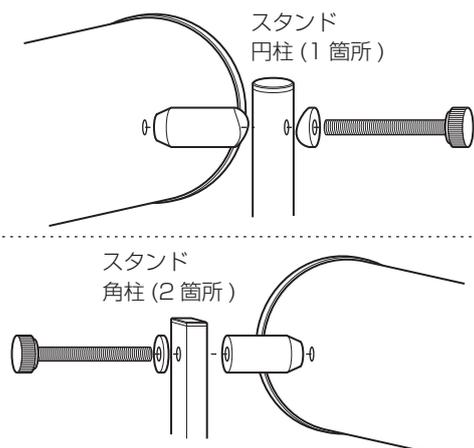


- ホーンに強い力を与えると破損する恐れがあります。スピーカーを動かすときは金属製のスタンドの部分をつかんでください。
- 壁のすぐ側や部屋の角に設置しても構いません。その場合は、サブウーハーのレベル調節(14ページ)とスピーカーの向きの調節(15ページ)を適切に行ってください。ただし、警告(2ページ)を良く読んで設置してください。
- スパイク型脚の保護キャップは設置/接続の後、音質の調整をしてスピーカーの最終的な設置場所が決まるまでは外さないでください。フットベースの裏側はゴム系の素材で滑りにくなっていますので、保護キャップを外した後はスピーカーの移動が出来ません。

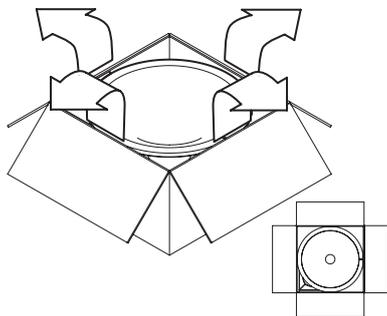
**4** ミッドレンジホーンのドライバーユニットを取り付ける。(DUO XDのみ)

付属のボルト/ワッシャー/スペーサーでスタンドに取り付けます。円柱用(1箇所)と角柱用(2箇所)があります。

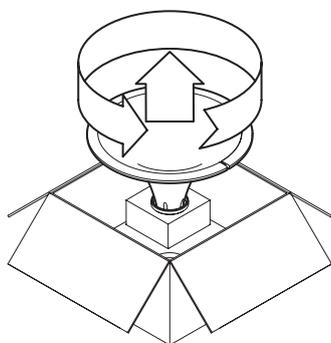
ドライバーユニットは端子の付いているほうを後ろ/下側にしてください。また、スタンドに取り付ける穴(内側:円柱1箇所、外側:角柱2箇所)に注意して、左右のドライバーユニットを間違えないようにしてください。



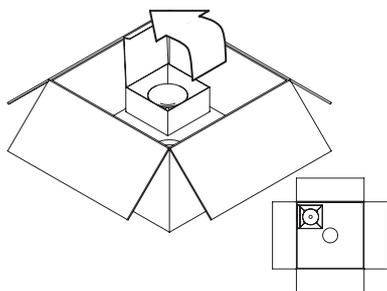
**5** ミッドレンジホーンの梱包を開ける。



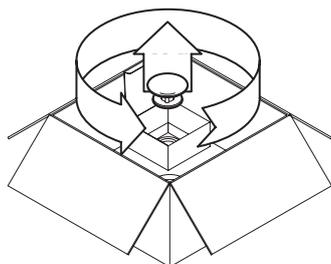
**6** ミッドレンジホーンを反時計回りに回して、ネジ付き梱包剤から取り外す。



**7** 内側にある箱を開ける。



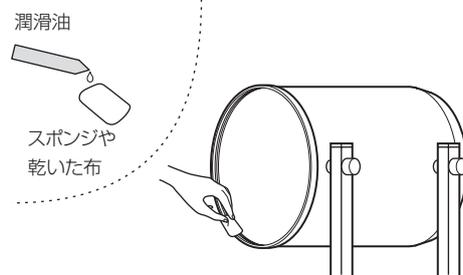
**8** ツイーターホーンを反時計回りに回して、ネジ付き梱包剤から取り外す。



**9** ミッドレンジホーンを取り付ける。

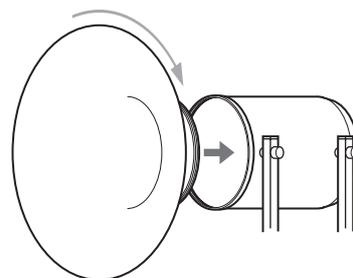
取り付ける前にスポンジや乾いた布に潤滑油をつけて、ドライバーユニット開口部の内側のゴムの部分に塗った後、余分な油を乾いた布などで拭き取ってください。

**!** 潤滑油が目に入ってしまった場合は、すぐに流水で15分間ほど洗い流し、医師の診断を受けてください。



● 潤滑油は付けすぎず、必ず余分な油を拭き取ってください。油が誤ってコーン紙に付かないよう慎重に作業してください。

ミッドレンジホーンを右回りにねじ込んで取り付けてください。

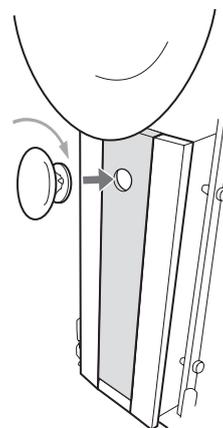


上手くかみ合うまで時間を掛けて慎重にゆっくりと回してください。

● 上手くかみ合わない場合は、数回逆転（左回り）させてかみ合わせのポイントを見つけ、再度右回りにねじ込んでください。

**10** ツイーターホーンを取り付ける。

右回りにねじ込んで取り付けてください。



● ツイーターホーンを取り付けた後は、フロントグリルの取外し・取付けはできません。フロントグリルの取外し/取付けをする場合は、ツイーターホーンを取り外してから行ってください。

# 接続について

## 付属のケーブルについて

### ジャンパーケーブル（スピーカー用）

シングルワイヤー接続（接続例 1）では、本機の端子同士を付属のジャンパーケーブルで接続する必要があります。

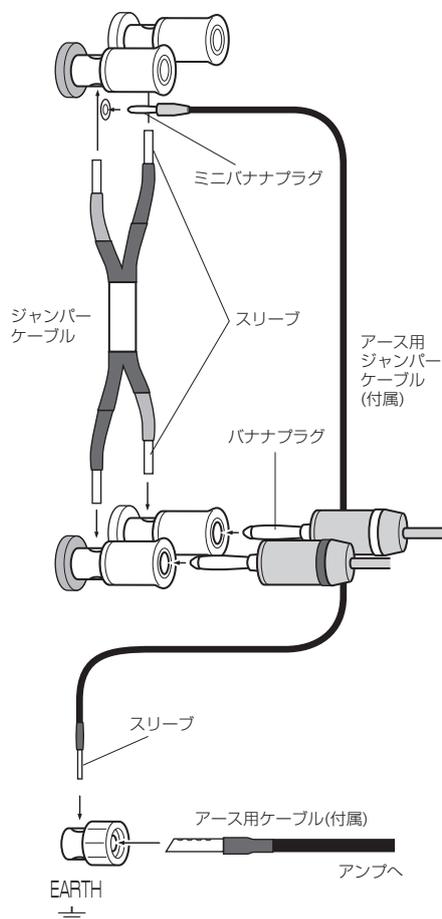
付属のジャンパーケーブルは、末端がスリーブになっています。一つの端子に 2 本のケーブルを接続する場合は、バナナプラグと組み合わせて接続してください。

### アース用ケーブル

ハムノイズが発生する場合など、アンプとアース接続をすると改善することがあります。

改善しない場合は、サブウーハーとアンプの電源コードを同じ電源コンセントに接続したり、本機の電源コードを市販の 3P タイプ（ただしアース端子が導通しているもの）に変更するなどの方法をお試しください。いずれかの方法、または上記方法の組み合わせで改善する低くブーンとうなる微弱なハムノイズは本機の故障によるものではありません。

アース接続する場合は、付属のアース用ジャンパーケーブルのミニバナナプラグをミッドレンジホーンのアース端子に、スリーブをツイーター / サブウーハーのアース端子に接続してください。さらに、付属のアースケーブルでアンプと接続してください。



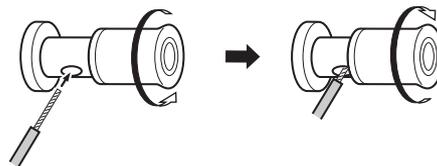
## スピーカーケーブルについて

- アンプとの接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。バイワイヤリング接続する場合も、高音用と低音用のケーブルは同じ長さにしてください。

## 接続の方法

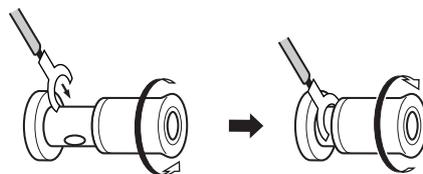
- 接続の前に、必ずアンプの電源を切り、音量を絞ってください。
- 接続が終わったら、ケーブルの末端が他のターミナルやケーブルに接触していないことを確認してください。
- 接続の作業中に、他のスイッチに触れて設定が変わってしまわないように注意してください。

### より線 / スリーブの場合



つまみをゆるめてターミナルの奥の穴に芯線を差し込んでから、つまみを締めます。

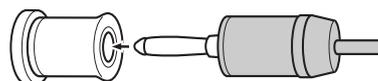
### Y ラグ端子の場合



つまみをゆるめて Y ラグ端子を挟んでから、つまみを締めます。

- Y ラグ端子は、内径 6mm ~ 8mm のものをお使いください。

### バナナプラグの場合



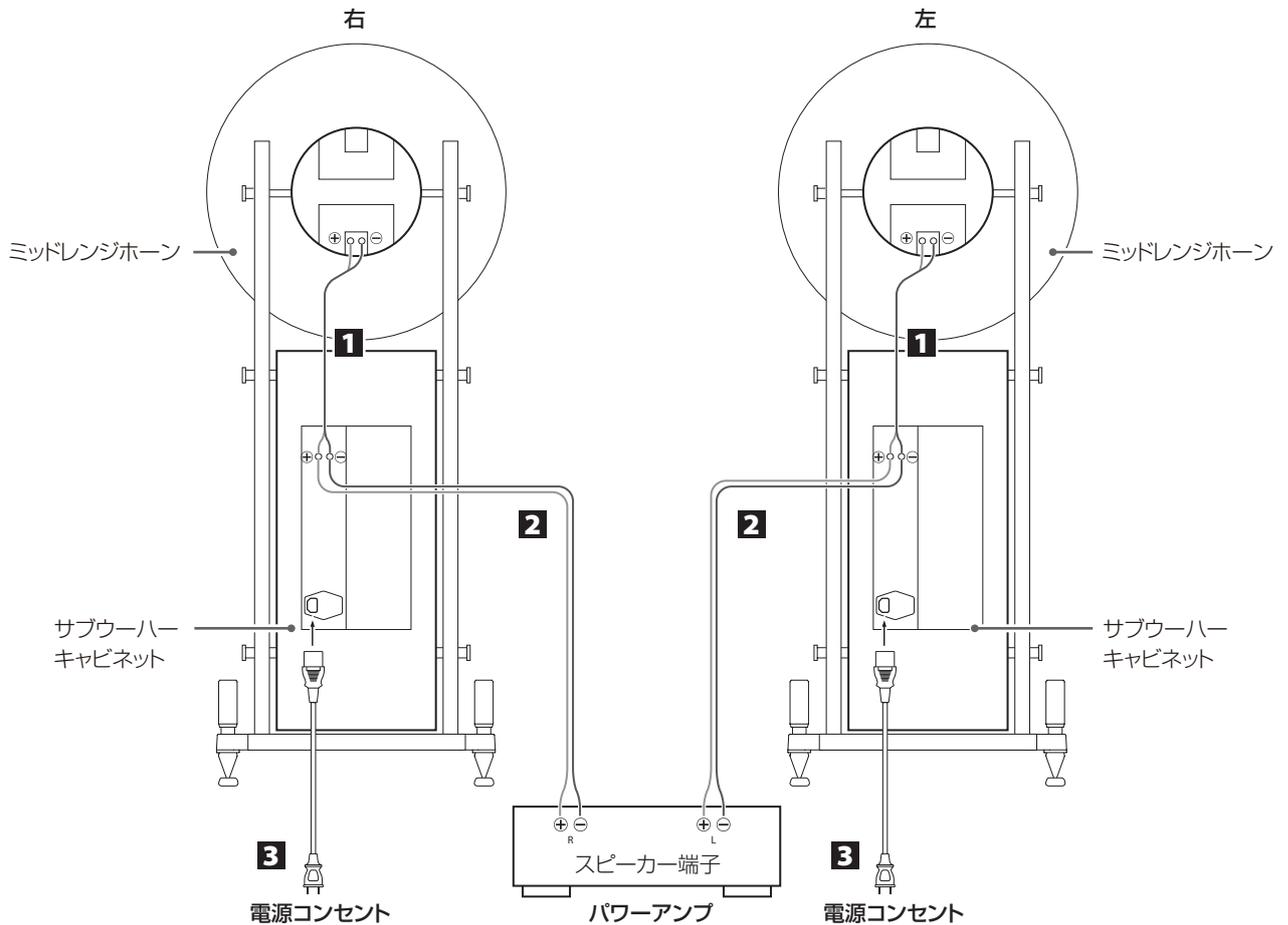
スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

# 接続例 1 (シングルワイヤー接続)

## ⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



シングルワイヤー接続の例です。

### 1 ミッドレンジホーンの端子とツイーター / サブウーハーのスピーカー入力端子を付属のジャンパーケーブルで接続する。

各端子は、⊕ 端子 (赤) 同士、⊖ 端子 (黒) 同士を接続してください。

### 2 ツイーター / サブウーハーの端子とアンプのスピーカー端子を、市販のスピーカーケーブルで接続する。

市販のスピーカーケーブルを使って、スピーカーの ⊕ 端子をアンプの ⊕ 端子と、⊖ 端子をアンプの ⊖ 端子と接続してください。

- アンプとの接続は、お好みによりミッドレンジホーンの端子と接続することも可能です。

### 3 サブウーハーの電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込む。

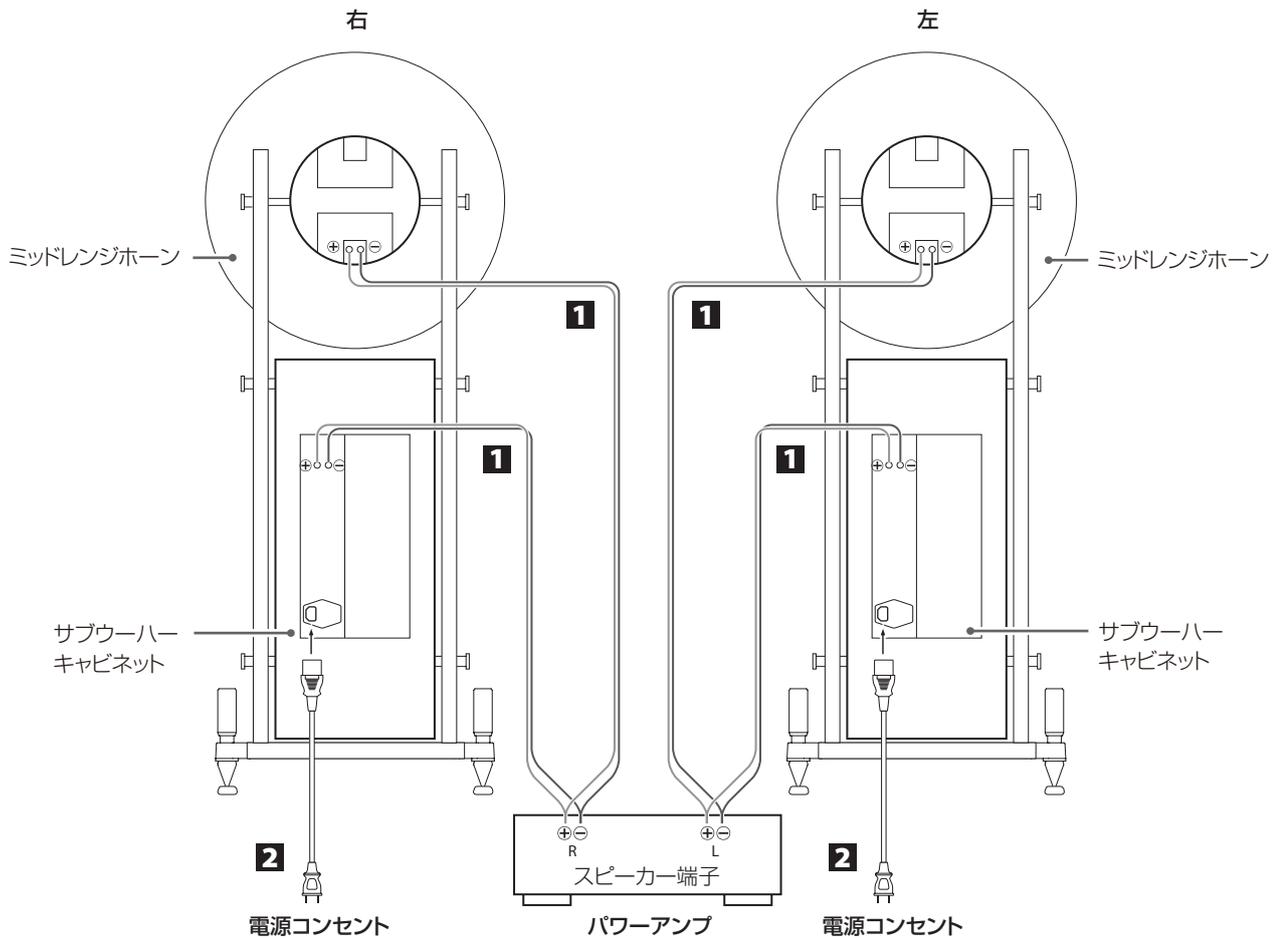
全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- ⚠ 指定の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

## 接続例 2 (バイワイヤリング接続)

### 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



バイワイヤリング接続の例です。

### **1** ミッドレンジホーンの端子とツイーター/サブウーハーの端子を、それぞれアンプのスピーカー端子と接続する。

市販の同じ長さの2組のスピーカーケーブルを使って、スピーカーの ⊕ 端子をアンプの ⊕ 端子と、⊖ 端子をアンプの ⊖ 端子と接続してください。

- バイワイヤリング接続のときは、付属のジャンパーケーブルは使用しません。

### **2** サブウーハーの電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込む。

全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

-  指定の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

### サブウーハーのXLR端子を使う接続

サブウーハーは、XLR 端子 (インピーダンス: 150Ω) を使って、BTL アンプやプリアンプからのラインレベルの信号を入力することが可能です。  
(インピーダンスの適合やバランスをとるのが難しい場合があるので、Avantgarde 社はスピーカー接続を推奨しています)

INPUT スイッチを XLR に切り換えてご使用ください。

- 接続するアンプの出力端子のインピーダンスが適合するかどうかが確認してください。
- XLR 端子はサブウーハー専用の入力端子です。  
INPUT スイッチを XLR に切り換えた場合は、スピーカー入力端子 (ツイーター / サブウーハー) はツイーター専用になります。ツイーターから出力するためには、接続例 1 / 接続例 2 などと同様に、スピーカー入力端子 (ツイーター / サブウーハー) もアンプのスピーカー端子に接続してください。
- サブウーハーの接続方法がツイーター / ミッドレンジと異なりますので、クロスオーバー周波数、レベルなどを調節してバランスをとってください。

### 位相チェックについて

左右のスピーカーの極性 (⊕/⊖) が一致していないと、位相が合わないために、正しいステレオ再生音が得られません。

位相チェックは、低音がよく入っているプログラムソースを左右のスピーカーからモノラルで出して聴き比べます。

位相が合っている場合は、低音が豊かによく出て、音像が左右のスピーカーの中央に定位します。位相が合っていない場合は、低音が出ず音像がぼやけて定位しません。このような場合は、スピーカーとアンプ間の接続の極性 (⊕/⊖) を確認してください。一方だけ、極性を逆に接続しなおすと正しい位相になります。

- ホーン、キャビネット、スタンドの表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
- サブウーハーのグリルに付いたほこりは、洋服用のブラシで払うか、掃除機 (弱) で吸い取ってください。



**お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

- 中性洗剤は、目立たない部分で試してからお使いください。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、表面を傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナー、研磨剤などで拭かないでください。表面を傷める原因となります。
- ホーンの奥にある振動板には触らないでください。

### エージング

使い始めには、注意深くエージング (ならし運転) をすることによって、電源回路およびユニットの寿命を延ばし性能を高めることができます。

エージングは、サブウーハーの電源をオンにした状態で、適度な音量で延べ 40 時間以上行ってください。

- ミッドレンジドライバーを単体で、またはホーンを外した状態で絶対にエージングしないでください。単体・ホーン無しの状態では能率が低いため、想像以上に音量が上がり、ボイスコイルが切れたり熱でユニットが変形するなどして、故障の原因になります。

### フロントグリル/パネルの脱着について

本機のサブウーハーのフロントグリル、およびフロントパネルは取り外して使用することができます。

- ホーンを取り付けた後は、フロントグリルの取外し / 取付けはできません。フロントグリルの取外し / 取付けをする場合は、干渉するホーンを取り外してから行ってください。
- 一旦外したフロントパネルを元に戻す場合は、上下の向きやキャビネット側の穴の位置に注意して、まっすぐに取り付けてください。上下を間違えたり、斜めに取り付けるとツメがキャビネットに当たって傷がつきます。正面から慎重に押し込み、パネル全体を丁寧に押し込んでください。

# スピーカーの向きの調節

## 左右の向きの調節

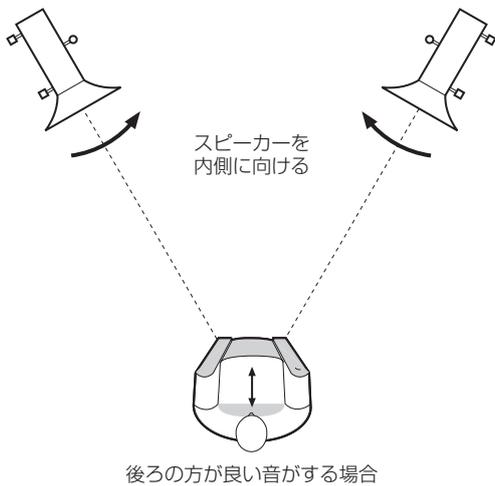
左右のスピーカーはリスニングポジションに向けて正しく設置することをおすすめします。

スピーカーの向きの調節が適切に行われていれば、左右のスピーカーの距離やリスニングポジションまでの距離を、せばめたり広げたりしてもかまいません。

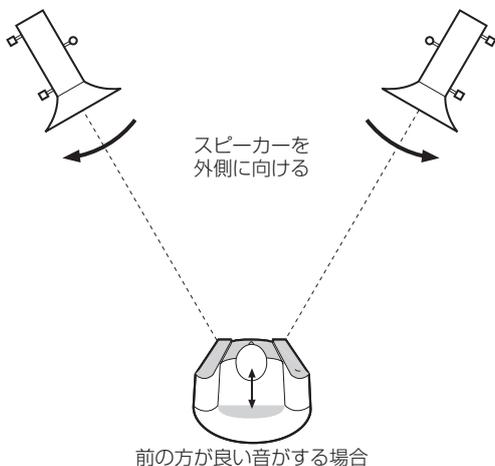
### 1 聞きなれたソースを再生しながら、リスニングポジションで頭を前後に動かし、もっとも良い音のする位置を探す。

いつもお聴きになるポジションがもっとも良い場合は調節の必要はありません。

### 2 頭を後ろに動かしたときに良い音がする場合は、スピーカーを少し内側に向ける。



### 3 頭を前に動かしたときに良い音がする場合は、スピーカーを少し外側に向ける。



スピーカーの向きを変える場合は、少しずつ行ってください。また、いろいろなソースを再生して確認しながら行ってください。

## 上下の傾きの調節

聴取位置のスピーカーからの距離や床からの高さによっては、音質の向上のため、スピーカーの傾きを調節する必要があります。これは、設置した床に傾きがある場合の補正にもなります。

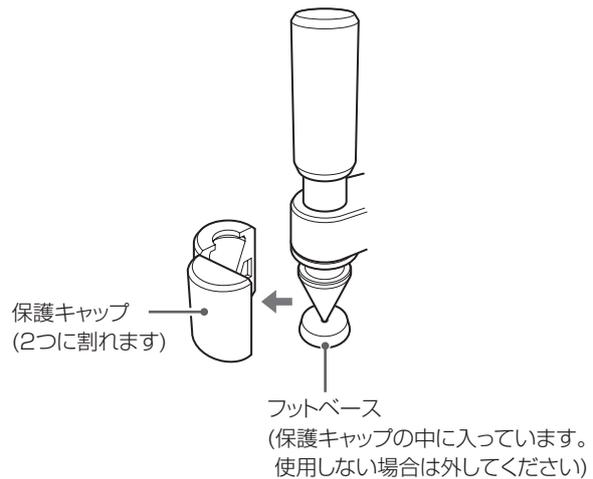
### 1 スパイク型脚の保護キャップを外す。

フットベースの裏側はゴム系の素材で滑りにくくなっていますので、保護キャップを外した後はスピーカーの移動が出来ません。

音を出してスピーカーの最終的な設置場所が決まってから保護キャップを外してください。

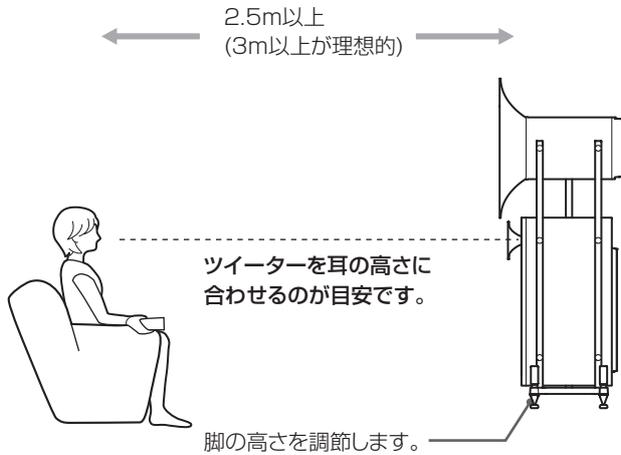
4つの保護キャップを外す場合は取り外す側を浮かせてひとつづつ外します。

 手を挟まないようにご注意ください。



## ゲイン(音量)の調整

### 2 スピーカーの傾きの調節をする。



スパイク脚のつまみを右回りに回すと、脚が高くなります。  
スパイク脚のつまみを左回りに回すと、脚が低くなります。



4カ所の脚の高さを調節して全体の傾きを補正してください。  
(UNO XDは、フロント2脚のみ高さ調整可能)

サブウーハーの音量は背面のサブウーハー音量ボタン (VOL ▲ / VOL ▼) にて調整可能です。お部屋の大きさに合わせて、お好みの音量に調整してください。

サブウーハー音量ボタン (VOL ▲) を押すと低域の音量が上がり、サブウーハー音量ボタン (VOL ▼) ボタンを押すと低域の音量が下がります。ステップは 0.5dB です。

- 設定した音量は電源を切っても保持されます。
- 音量初期値  
Duo XD: +8dB  
Uno XD: +7dB

そのほかの操作方法は、18 ページの「補足：イコライザーとフィルターの設定」の項をご覧ください。

## 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度確認してください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

### 音が出ない。

- ➔ アンプとの接続を確認してください。
- ➔ 入力切換えスイッチの位置が入力に対して適切か確認してください。

### 電源が入らない。

- ➔ 電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全でないか確認してください。
- ➔ コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているか確かめてください。
- ➔ 本体のリモートスイッチ位置が適切か確認してください。（リモート端子を使用しない場合は、OFFの位置にしてください。）
- ➔ ヒューズが切れていないか確認してください。

### ハムノイズが発生する。

- ➔ 本機とアンプをアース接続してください。

## 保証とアフターサービス

### ■ 保証書

この製品には保証書が添付されています。

保証書は、販売店が所定事項を記入してお渡しいたします。「販売店名・お買い上げ日」など、記載事項をお確かめのうえ、お受け取りください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。

### ■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。

### ■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、およびご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

### ■ 修理を依頼されるときは

16 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害の責についてはご容赦ください。

### 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

### ご連絡いただきたい内容

アヴァンギャルド ユノ エクスター  
型名：avantgarde UNO XD

アヴァンギャルド デュオ エクスター  
avantgarde DUO XD

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況（できるだけ詳しく）

### ■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

### 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

## システム

型式 . . . . . ホーンスピーカー+アクティブサブウーハーシステム

周波数特性

UNO XD

290 ~ 20,000Hz (ミッドレンジ/ツイーター部)  
18 ~ 350Hz (サブウーハー部)

DUO XD

170 ~ 20,000Hz (ミッドレンジ/ツイーター部)  
18 ~ 350Hz (サブウーハー部)

最大許容入力

UNO XD . . . . . 50W

DUO XD . . . . . 100W

能率 (1w/1m) . . . . . 107dB

クロスオーバー周波数

UNO XD . . . . . 290/3,000Hz

DUO XD . . . . . 170/2,000Hz

入力インピーダンス . . . . . 18Ω

推奨パワーアンプ出力 . . . . . 10W 以上

推奨リスニングルームサイズ

UNO XD . . . . . 16m<sup>2</sup> 以上

DUO XD . . . . . 20m<sup>2</sup> 以上

## ホーン

ホーンカーブ . . . . . スフェリカル

放射特性 . . . . . 180°

ホーン材質 . . . . . ABS 樹脂

ホーン面積 (開口部)

UNO XD . . . . . 0.196m<sup>2</sup> (ミッドレンジ)  
0.013m<sup>2</sup> (ツイーター)

DUO XD . . . . . 0.353m<sup>2</sup> (ミッドレンジ)  
0.025m<sup>2</sup> (ツイーター)

ホーン直径

UNO XD . . . . . 500mm (ミッドレンジ)  
130mm (ツイーター)

DUO XD . . . . . 670mm (ミッドレンジ)  
180mm (ツイーター)

ホーン長さ

UNO XD . . . . . 280mm (ミッドレンジ)  
65mm (ツイーター)

DUO XD . . . . . 370mm (ミッドレンジ)  
85mm (ツイーター)

## ホーンドライバー

ドライバー径

UNO XD . . . . . 127mm (ミッドレンジ)  
25mm (ツイーター)

DUO XD . . . . . 170mm (ミッドレンジ)  
25mm (ツイーター)

マグネット

UNO XD . . . . . ダブルフェライト (ミッドレンジ)  
フェライト (ツイーター)

DUO XD . . . . . アルニコ (ミッドレンジ)  
フェライト (ツイーター)

## アクティブサブウーハー

ドライバー径 . . . . . 300mm×2

最大出力 (RMS) . . . . . 1000 (2 x 500)W  
Class-D

アクティブクロスオーバー周波数 . . . . . 内蔵の DSP により可変

サブソニックフィルター . . . . . 内蔵の DSP により可変

その他機能 . . . . . 12V リモートオン/オフ  
スマートリミッター

DSP 設定用 LAN/USB

スピーカー /XLR 入力切り換え

ループスルー出力 (XLR x1)

ソフトスタート回路

## 一般

電源電圧 . . . . . 100V, 50-60Hz

ヒューズ定格 . . . . . 6.3A

消費電力 (最大) . . . . . 108W

消費電力 (無信号時) . . . . . 約 15W

外形寸法 (W×H×D)

UNO XD . . . . . 500×1,380 (±15)×590mm

DUO XD . . . . . 670×1,695 (±15)×600mm

質量

UNO XD . . . . . 約 73.5kg

DUO XD . . . . . 約 88kg

付属品 (左右 2 台分)

ジャンパーケーブル ×2

アース用ジャンパーケーブル ×2

アースケーブル ×2

電源コード ×2

ヒューズ (予備) ×2

ボルト ×6 (DUOXD のみ)

ワッシャー ×6 (DUOXD のみ)

スペーサー ×6 (DUOXD のみ)

フットベース ×8

取扱説明書 ×1

保証書 ×1

- 仕様およびデータはドイツ Avantgarde Acoustic 社の発表によるものです。
- 仕様およびデータは、付属品の項を除き、1 台分の数値です。
- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

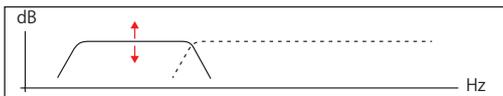
# 補足：イコライザーとフィルターの設定



## 1 低音の音量を設定する。

低域は、部屋とスピーカーの位置により変わり、低域が強調されたり弱められたりします。

最初のステップとして、全体的な低域の音量を調整します。



サブウーハー音量ボタン (VOL ▲ /VOL ▼) を短く押すと、音量が表示されます。

```
*****
volume:  0dB
```

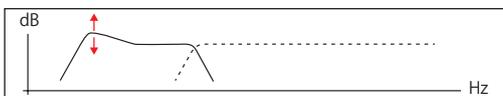
音量が表示されている状態で、再度サブウーハー音量ボタン (VOL ▲) を押すと低域の音量が上がり、サブウーハー音量ボタン (VOL ▼) ボタンを押すと低域の音量が下がります。

```
*****
volume:  0.50dB
```

- ステップは 0.5dB です。
- 初期値  
Duo XD: +8dB  
Uno XD: +7dB
- 極端な設定をすると故障する恐れがあります。

## 2 低音のイコライザーを設定する。

全体的な低域のボリュームを調整した後、好みに応じて 20Hz ~ 100Hz(中心周波数 40Hz) 以下の低域の音量を増減できます。



1. EQ コントロールつまみを押して、設定メニューに入る。

```
Configuration:
00_+0db_FRE+00hz
```

2. EQ コントロールつまみを回して、20 パターンのプリセットからお好みの設定を選択する。
3. EQ コントロールつまみを 2 回 (1 度目は確認、2 度目で保存) 押して設定を保存する。

## イコライザプリセット一覧

継ぎ目のないクロスオーバー	イコライザー
00_+0db_FRE+00hz	フラットな低音
10_+3db_FRE+00hz	やや強めな低音
20_+6db_FRE+00hz	強めな低音
30_-3db_FRE+00hz	やや弱めな低音
40_-6db_FRE+00hz	弱めな低音

フラットな低音	クロスオーバー設定
00_+0db_FRE+00hz	継ぎ目のないクロスオーバー
01_+0db_FRE+30hz	暖かみの有る音
02_+0db_FRE-30hz	切れのある音

やや強めな低音	クロスオーバー設定
10_+3db_FRE+00hz	継ぎ目のないクロスオーバー
11_+3db_FRE+30hz	暖かみの有る音
12_+3db_FRE-30hz	切れのある音

強めな低音	クロスオーバー設定
20_+6db_FRE+00hz	継ぎ目のないクロスオーバー
21_+6db_FRE+30hz	暖かみの有る音
22_+6db_FRE-30hz	切れのある音

やや弱めな低音	クロスオーバー設定
30_-3db_FRE+00hz	継ぎ目のないクロスオーバー
31_-3db_FRE+30hz	暖かみの有る音
32_-3db_FRE-30hz	切れのある音

弱めな低音	クロスオーバー設定
40_-6db_FRE+00hz	継ぎ目のないクロスオーバー
41_-6db_FRE+30hz	暖かみの有る音
42_-6db_FRE-30hz	切れのある音

### 3 クロスオーバー周波数について

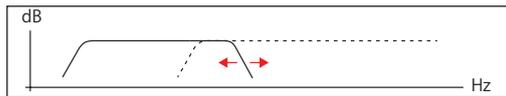
#### 注意

クロスオーバー周波数は通常変更しません。好みの音を作る場合に設定を変更してください。

工場出荷時のクロスオーバー周波数は 250Hz です。サブウーファーの周波数レスポンスは、ミッドレンジホーンの周波数レスポンスにシームレスにクロスオーバーします。両方のレスポンスカーブは重なり合わず、間に隙間はありません。

クロスオーバーは、システムの「トーンバランス」を調整します。より高い周波数にすると、サブウーファーはミッドレンジホーンレスポンスと部分的に重なります。これはサウンドキャラクターに「暖かさ」、より豊かな「ボディ」を与えます。

クロスオーバーを意図的に低い周波数に設定すると、サブウーファーとミッドレンジのオーバーラップが少なくなり、より切れのある音になります。



3 種類のクロスオーバー周波数を選択できます。プリセット番号の 2 桁目で示されます。

00_	_FRE+00hz	シームレス (250Hz、出荷時設定)
01_	_FRE+30hz	暖かみのある豊かな音 (280Hz)
02_	_FRE-30hz	切れのあるダイナミックな音 (220Hz)

## XDシリーズコントロールソフト

パソコン上で専用のソフトウェアを使用してより細かな設定を行うことも可能です。

詳細は、ソフトウェアの取扱説明書をご覧くださいか、ご購入いただいた販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。

ソフトウェアおよびソフトウェア取扱説明書は下記アドレスからダウンロードしてください。

[http://www.esoteric.jp/products/avantgarde/control\\_software/index.html](http://www.esoteric.jp/products/avantgarde/control_software/index.html)

## エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp/>

### この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



**0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- 
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。